



かがやく瞳

令和4年度

2022. 12. 1

No. 30

冬がやって来ました ～冬来たいなば春遠からじ～

天気予報に雪マークが付き、初雪が降りました。いよいよ本格的な冬が到来しました。数日前の小春日和の日には、2年生の子どもたちと柿を干しながら、「このまま春が来ないかなぁ。」と思ったのですが、やはり雪は降り、冬はやって来ました。

秋田の冬は、私たちが逞しくしてくれる面もあります。雪が降る中登校班で歩いてくること、準備や装備に手間がかかること、注意すべきことが発生することなど、たくさんの難儀があります。しかし、この難儀は悪いことばかりではありません。子ども時代の難儀は大人になった時、必ず生かされます。心に地下水のように流れて生きる力となります。どうしても冬をネガティブに捉えてしまいがちですが、そこは、私たちの考え次第です。時には勇気をもって意味ある難儀をさせることもあろうかと思えます。冬を利用して子どもたちを育てていきたいと思えます。

「冬来たりなば春遠からじ」です。冬に鍛え、成長の春をみなさんと迎えましょう。

給食喫食時の黙食について

新型コロナウイルス感染拡大が続いています。子どもたちも感染予防の輪に入ってがんばってくれています。がんばりの中の一つに「給食の黙食」があります。本当によく守ってくれて、食事中は、全校が静かになります。本来は学校給食の目標にあるように「学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養う」時間であるはずでしたが、新型コロナウイルス感染防止のため黙食を励行していました。発生から三年が経過し、対処の仕方や捉え方に変化が見られるようになり、黙食についても精神衛生の面から見直されるようになりました。文部科学省から「適切な対策をとれば、『会話』は可能」という通知がなされました。

そこで、東大曲小でも黙食について見直すことにしました。見直しに当たっては、次の2点に留意することとしました。

- ① まだまだ感染拡大が続いていること
- ② 先生と子どもたちが予防に関する資料を基に、話し合っ規則を決める。

子どもは「なぜ、その規則が大切で必要か。」ということが理解できれば、守ることも我慢することもできます。先生と子どもたちで話し合っ、予防と会話の楽しさが両立する着地点を探りました。今後も必要な感染予防は怠らず進め、ご家庭のみなさんと新型コロナウイルス感染症とつきあっていきたいと思えます。保健便り「げんき」にもこの件に関してお知らせしております。どうぞご覧ください。また、新たな規則については子どもさんからお聞きください。



【会話は食事の調味料】

<裏面もご覧ください>

がんばりにおめでとう！

<秋の火災予防運動防火ポスターコンクール>

優秀賞 4年 伊藤 健人 瀬田川璃音

ありがとう 火消しもち祭りボランティアへの応募、
ございました **ありがとうございました**

火消しもち祭りボランティアの募集にたくさんの方々が応募してくださいました。感染拡大の中ではありますが、予防を行いながら行い3年ぶりに「ぺったんぺったん」の音をみんなで響かせて、冬の思い出をつくりたいと思います。ありがとうございました。申し込まれていない方で、当日ご都合がつく方はいつでも本校教頭までご連絡ください。